

会議の名称	平成18年第1回 鳥海地域協議会
開催日時	平成18年6月21日(水) 午後2時
開催場所	由利本荘市 鳥海総合支所 講堂
出席者氏名	「出席者名簿」のとおり
欠席者氏名	(次葉 取消線の者)
<p>(会議次第)</p> <p>1. あいさつ 鳥海地域協議会会長 鳥海地域自治区長 鳥海総合支所長</p> <p>2. 協議事項</p> <p>①平成18年度由利本荘市主要プロジェクトについて</p> <p>②鳥海地域総合ミュージアムについて</p> <p>③平成18年度の鳥海地域協議会の開催計画・運営方法について</p> <p>④地域課題について(情報交換)</p> <p>⑤その他</p> <p>1)ふるさと鳥海の会との連携事業について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ふるさとツアーへの参加・交流の要請について ・会設立20周年記念事業に対する地域からの希望について ・会員から地域への希望・意見について <p>2)各期成同盟会等への参加要請について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「日治道・羽越本線新幹線・鳥海ダム・本荘由利交通体系」 ・「羽越本線高速化シンポジウム」 <p>3)その他</p>	
会議の経過	別紙のとおり

(会議の経過)	
第1回 鳥海地域協議会	
平成18年6月21日(水) 午後2時 開会	
	(開会) (資料確認・説明)
村上振興課長	「ただ今より、平成18年度第1回鳥海地域協議会を開会いたします。 はじめに、松田 鳥海地域協議会長よりご挨拶申し上げます。」
会長	「皆さん今日はお忙しいところご参会いただきましてありがとうございました。昨年度3月18日に山形県酒田市八幡地域協議会との関係から、いろいろお話しを申し込んだ訳ですが、あれから3ヶ月。田植えも終わりました、さなぶりの時期も過ぎまして、今日夏至じゃないかなと。今、世の中は大変になっているなど、藤里の事件がありまして、非常に秋田県の恥だなど思っております。その後、ワールドカップでテレビは大騒ぎしておりますが、そうした意味でも、今大変だなど思っております。さらにまた、おそらく皆さんにも、納税通知が行ったと思いますけれども、逆に今までの規制緩和が廃止されまして、税金も高くなったなという実感をしているようでございます。それがたまたま合併のせいじゃないかと言う人もおりますけれども、決してそうではない訳でございます。いずれにつきましても、大変な世の中になってきております。この間の野球大会では、鳥海勢が頑張りました、なんとなくホッとした明るいニュースになったと思っております。この後の健闘を期待しております。 今日は18年度の最初の会議でございますけれども、いろいろな市の方針が決まりました、それぞれの予算がつけられ、今日は各課長さんから説明していただきながら第1回目の会議を進めていきたいと思っております。更に、年間6回が目処ですので、その会議の持ち方などについてもご意見をいただきたいと思っております。よろしくをお願いします。」
村上振興課長	「佐藤 鳥海地域自治区長よりご挨拶申し上げます。」
佐藤区長	「今日は平成18年度の最初の地域協議会という事でご案内申し上げたところ、何かとお忙しい中ご出席いただきありがとうございました。合併後1年と3ヶ月になろうとしておりますけれども、昨年の地域協議会は合併初年度という事で、市の発展計画また国土計画など、いろいろ本庁の方から意見を聞きたい等そういう面が多かった訳であります、今年は2年目という事で地域の抱える問題などいろいろ説明があろうと思っております、この地域のテーマを掲げながら今年に進んだらどうかなと思っております。今、会長からお話しがありましたけれども、昨年の最後の協議会は山形県の酒田市、旧八幡町の視察と交流を兼ねて行われた訳ですが、意見交換ができて非常にいい会だったなど。そして鳥海山をぐるっと回って、環鳥海というものを見て研修してきたと。今年もそういう点を踏まえながらいろいろとご意見をいただき、市に意見を届けていきたいと思っております。」
村上振興課長	「続いて、鷹島鳥海総合支所長より、新任のご挨拶を申し上げます。」
鷹島総合支所長	「鷹島でございます。こちらに来て3ヶ月経とうとしており、もう新任の挨拶はないかと思っておりましたが、一言ご挨拶申し上げます。日ごろ大変お世話になりました。ここ3ヶ月ほどお世話になって、一番強

烈に感じましたのは、この地域というのは自然という資源と生活あるいは市の仕事が非常に密着していると感じました。西目から鳥海に参りましたので、こういった観光資源といった大きなものではありませんでしたので、そういう意味から申しますと、一番感じる部分がございます。先般、研政会の研修会が行われ、その際にも鳥海地域というのは、天の恵みが非常にあり、反面、自然災害や豪雪といったリスクも背負っていかねばならないと申しあげました。自然災害というのが、市民の生活にどのような影響を与えるのか、この3ヶ月で強く感じたところでもあります。そういった意味で、自然と共生しながら、行政も住民の方々も地域の発展のためにそういった事を踏まえながら活動していかなければならないと強く感じたところでもあります。これから長くお世話になると思いますが、みなさんから更にご指導ご鞭撻賜りますようお願い申し上げます。新任の挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。」

村上振興課長

「続いて会議に入らせていただきますが、会議の議長は条例第9条第4項の規定により会長が努めます。」

議長

「それでは、進行役を務めさせていただきますので、よろしく申し上げます。本日の地域協議会は、会議次第にもありますように、平成18年度の市の主要プロジェクトについてのほか数件の協議題を提示しております。それでは、1つめの由利本荘市主要プロジェクトについて、鳥海総合支所管内の今年度の重点事業等を含めて、各課長より所管の事業の概要をお話願います。」

(各課長)

振興課長 平成18年度 由利本荘市主要プロジェクトの概要

1 ページ

1. 地域に開かれた住民自治のまちづくり

(1) 地域協議会

(2) 住民自治活動支援交付金

(3) 地域振興事業補助金

(4) 集会施設建設費等補助金

(5) 広報広聴事業

(6) 市民歌制作事業

(7) 「市の花」「市の木」「市の鳥」制定事業

5 ページ

5. 豊かな心と文化を育むまちづくり

(3) 秋田わか杉国体関連事業

6. 心ふれあう情報と交流のまちづくり

(2) 高度情報通信基盤の整備

について説明

市民課長

3 ページ

3. 健やかさとやさしさあふれる健康福祉のまちづくり

(6) 子育て支援金給付事業

(7) 乳幼児福祉医療費拡大事業

(8) 入院医療費支給事業

4 ページ

4. 恵まれた自然とやすらぎのある環境共生のまちづくり

(4) 消防関連事業

について説明

鳥海診療所事務長

3 ページ

3. 健やかさとやさしさあふれる健康福祉のまちづくり

(4) 笹子診療所改築事業

について説明

建設課長

11 ページ

□鳥海地域

- (3) 道路新設改良事業
- (4) 農業集落排水資源環境統合補助事業 について説明

福祉保健課・村上主席参事

- 3 ページ 3. 健やかさとやさしさあふれる健康福祉のまちづくり
- (1) 人間ドック助成事業
 - (2) 計画策定事業
 - (3) 地域支援事業 について説明

産業課・新田課長補佐

- 2 ページ 2. 活力とにぎわいのあるまちづくり
- (1) 商工観光関連事業
- 11 ページ □鳥海地域
- (5) 市有林造林事業 について説明

鳥寿苑施設長

- 3 ページ 3. 健やかさとやさしさあふれる健康福祉のまちづくり
- (3) 地域支援事業 について説明

教育事務所長

- 5 ページ 5. 豊かな心と文化を育むまちづくり
- (1) 学校施設整備事業
 - (2) 水林総合運動公園整備事業 について説明

水道事務所長

- 3 ページ 4. 恵まれた自然とやすらぎのある環境共生のまちづくり
- 11 ページ □鳥海地域
- (2) 水道事業拡張改良事業 について説明

村上振興課長

「大変失礼ですが、振興課関係で一つ追加させていただきたいと思います。平成8年から行っておりました峠サミットの件です。本年は2巡目の鳥海の当番です。今年11月25日、紫水館で『2006 峠サミット in 由利本荘市Ⅱ』という事で開催予定となっております。委員のみなさんにはご参加をお願いすると思いますので、その節はよろしく願います。以上です。」

議長

「課長からの説明が終わりましたので、みなさんから質問事項あるいは意見等あれば。」

A 委員

「造林関係の予算で間伐が151 ha ですか。この間伐は有料間伐なのでしょうか。大変な面積の間伐だと思いますけれども、有料は全然考えていないのでしょうか。何メートルとかやらないのですな。40年から45年頃まで補助金でのでしょうか？分からなければ、あとでいいです。」(玉切り、切り捨て?)

村上振興課長

「後で連絡します。」

議長

「この後またいろいろお話する機会があると思いますので、次に、鳥海地域総合ミュージアムについて、振興課長よりこれまでの経過等を含めて、説明願います。」

村上振興課長

「お渡ししております資料の2 本荘由利一市七町合併／新市建設計画(自主

協議案件)「(仮称)鳥海地域総合ミュージアム」建設計画提案書 これは第10回の旧鳥海町「地域づくり研究懇談会」でこの提案をしていただいて、今日お出でのみなさんの中にも「地域づくり研究懇談会」の委員をお務めになった方がいらっしゃると思います。この計画につきましては、先般由利本荘市の企画調整部長ほか関係者の方からこの件についてはどういう事になっているのか、という事で呼び出しがありまして説明に行ってまいりました。前の総合支所長の方からは、すべて新市のほうに伝わっているはずだという事で安心しておりましたが、よくよく話を聞いてみますと話をした経緯はあるようですが、詳しい内容について、これからしっかりと精査していかなければならないと思っております。新市の観光振興計画には盛り込んでいただけるものとのお話をいただいたところであります。先般、研政会の研修会の際にも鳥海地域からの要望という事で、この「鳥海地域総合ミュージアム」建設計画 素案という事で提出し、研政会のみなさんにもご支援をよろしくお願ひしたいとお話ししております。現段階では、この建設計画提案書をもとにして庁内にプロジェクトチームを立ち上げ、住民の方々、あるいは課長さん方にいろいろと意見を出していただきまして、建設計画提案書の中身をもう少し濃いものにしていきたいというふうに考えております。新市総合発展計画の鳥海山麓観光交流ゾーン構想に基づく拠点施設整備事業として位置づけられているものであり、場所的なことなどをお話しいただいて、採算性などの観点を踏まえて、この鳥海地域の再生といえますか、新市の大きな目標が観光振興でいくという事になっておりますので、攻めの姿勢でいかなければ対応してもらえないかと思っております。我々も一生懸命頑張りますので、皆さんからも忌憚のないご意見をいただきたいと思っております。」

議長

「今日皆さんにお配りしております、由利本荘市総合発展計画の40ページでございますが、ここに「鳥海地域総合ミュージアム」が載っております。前の段階の提案の説明資料が今日皆さんにお渡ししたものととなります。これをもとにしなが、この会議でいろんな意見を出しあいながら支援していきたいと思っておりますので、よろしくお願ひします。」

A委員

「これは鳥海町の時代にもお話しを聞いた事がありますがけれども、これは鳥海地域に造られるという事でよろしいでしょうか。」

佐藤区長

「鳥海に造ってもらうという気持ちで事業を進めていかないと、どこにいくか分からなくなってしまうので、こちらで主体的に計画と立てて進めていこうと考えております。」

村上振興課長

「やはりこのような施設があちこちに分散したのでは話にならないと思うし、国道により近く鳥海山が見えて交通の便がいい、いろいろな面で総合的に考えていかなければならないなと思っております。この事につきましては、概算事業費が約15億で新市まちづくり計画の方にもありますし、最初は市の一体事業としてやると前の支所長から聞いておりましたけれども、なかなか藤原委員が心配しておりますように、鳥海地域だけでそういうものを欲しがっても、と企画調整部のほうから言われております。まだ、はっきり具体的なものではないのですが、これから頑張るといふ事にしておいていただきたいなと思っております。そのかわり、今日委員のみなさんから思っている事をお話ししていただいて参考にしたいと思っております。」

A委員

「今、課長が説明したように一体事業としての関係上はあるけれども、旧矢島も旧由利もそういった事業をほとんど今までの町でやっていたので、鳥海で発

想したものはそれはそれでという風に考えられる可能性が十分あるでしょうし、大変ご苦労だと思いますが、これは鳥海でという最初の基本がしっかりしていなければいけないだろうし、具体的にはこれから何回も意見を聞きながらつめていかなければならないと思います。あとは15億という大変な金額ですので、相当大きいものが建てられる可能性がある訳ですので、地域のみなさんの要望と、関係する団体、例えば伝承文化の関係、または自然との関係で、鳥海でなければできないもの、鳥海の特徴をいかせるようなものであればいいなと思います。」

佐藤区長

「これは、プロジェクトをたちあげてアイデアを出してもらってやる訳なので、今日だけでなくみなさんにこういうのをやるのだという頭をもって、あちこち見てまわりながら、これを念頭に置きながら、具体的な実施設計は来年・再来年に延びていくと思いますが、それまでにこういうのはどうだという意見をいただきたいと思いますので、なんとかよろしく願います。」

B委員

「区長が言う事も分かるが、この資料で建設場所が鳥海町とうたっているわけだが、この資料を出す段階までのどこに建てる予定で鳥海町にという事にしたのか、この資料を作った根拠はどうなんだ、ということです。」

佐藤区長

「鳥海の地域の中に建てるという要望を出したのであって、その時点で場所まで特定してやったのではないです。」

B委員

「この資料を作る段階で、一応どこら辺を頭の中に描いていたのかなと。」

村上振興課長

「この資料そのものが「地域づくり研究懇談会」の会の中で出たものを集約して提案書を作った訳ですが、どこでと特定は特にやっていなかったと思われませう。」

A委員

「こういうものがあればいいという要望にすぎなかったのではないか。」

村上振興課長

「合併協議会の中の、新市建設計画の中に織りこんでもらいたくて提案していた資料ということで捉えていただきたい。」

議長

「この地域で具体的な構想を練りながら、上にあげていかなければなんともならない事業なので、その核となるのが、この地域協議会になるのではないかと。他にもいろんな団体がありますが、そこにもお願いしながら、今後具体的な話し合いをしてまいりたいと思いますので、よろしくお願いします。」

A委員

「地域協議会としても、研修などの実施についてよろしくご配慮願います。」

議長

「類似施設等の所在を調べながら実施する方向で検討します。」

C委員

「タイムスケジュールは？いつ頃までまとめるのか。」

村上振興課長

「先ほど申しあげましたとおり、新市の観光計画に織り込んでくれるという企画調整部長から話がありましたので、それまでに大まかな事を決めると。年度内には観光振興計画を発注すると思えますけれども。その裏付けとなるものを。」

A委員

「本庁の観光振興課には鳥海地域から3人も行っているが、それでも総合支所

で決めていかなければならないか。」

佐藤区長

「連携を取りながら、ということです。」

村上振興課長

「資料は、あくまでも地域づくり懇談会が提案したものであり、参考資料であります。今日はこの程度にして、次回以降もっと詰めていきたいと考えます。」

議長

「次は、平成18年度の鳥海地域協議会の開催計画と運営方法に関してでございますけれども資料の3です。」

村上振興課長

(資料3 平成18年度の鳥海地域協議会の開催計画並びに運営方法について説明：開催回数、質問等の方法(2日前まで)、出席課長等を関係課長のみ、としたい。大まかな取り決めとしたい旨。)

議長

「地域協議会の開催回数ですが、2ヶ月に1回という事で進めていきたいと。それから、質問書の事前提出制度、これに合わせた担当課長のみ出席、についてですが、いかがですか。」

(賛成)

A委員

「昼と夜の開催は考えておられますか。今日は出席者が少ない。」

議長

「冬場の夜はダメですけど、夏は費用弁償を活用して夕食を出すので集まってくださいという形をとれば夕方でもいいのではないのでしょうか。では、今年度のこの会の進め方については、こういう条件で進めて、あとは皆さんの意見を取り入れながら進めたいと思います。では、次に④の地域課題についての情報交換についてです。」

村上振興課長

(資料4 平成18年度各町内会要望事項一覧表・回答資料を提示、説明)

議長

「建設課が多いようです。情報交換でありますので何か。」

村上振興課長

(納税状況について：収納率、本荘の次くらいに悪くなる。国保の短期証の交付等について説明。)

D委員

「矢ノ本の要望事項のようですけれども、108号線の矢島地区、工事してますな。市や総合支所の方に連絡とかあるものではないでしょうか。」

佐藤建設課長

「特にありません。小川地区については用地交渉等に一緒に活動しています。」

D委員

「ガードレールの高さの件についての申し入れについては。」

土田市民課長

「大栗沢からの出口について、今お話しされたように、新しくガードレールが設置された後、そのガードレールが高くて乗用車を運転しての上下の確認が非常に厳しいという事で、冬期間であれば大栗沢のみなさんが雪寄せしてそれを確保したというようなお話しも伺っておりました。つい最近、鳥海駐在所の工藤所長が来まして、苦情めいた話があったというような事で、これを公安委員会、いずれも警察を通じて、見にくい場所のガードレールを一部下げて安全確保するという事で決まったそうです。それが、今工事を担当されている業者が、その下げる工事をするというような事で、まだいつ頃するかは分かりませんが、」

佐藤建設課長

「先ほどのガードレールの件につきまして、簡易ですが歩道が設置されておりますけれども、市、市議会のほうへ、あるいは国へ、バイパス化の要望はしてございます。」

土田市民課長

「要望事項の中身からは少し離れますけれども、市民課で所管している業務の内容で、市として動いているその状況をちょっとお話しさせていただきたいと思います。各家庭から出されるゴミの有料化についてですが、新市としては今まで無料で進めておりました。ゴミ処理の経費が増大し、財政を圧迫している状態であり、秋田県内の各自治体でも、すでに有料化しているところ、協議しているところ様々であります。ゴミの有料化につきましては、全国的な傾向といたしましては、経費の収集運搬・焼却・埋め立て・その他処理経費など相当な経費がかかっているという事で、その一部を各家庭のゴミの量に応じた部分で公平に負担してもらおうという動きとなっております。その有料化された部分の財源を、地域の減量化対策・リサイクル促進・環境保全に使いましょうという事で、由利本荘市でも今、事務段階で有料化に向けた協議を進めております。各家庭で使用している袋がありますが、その袋におおよそ40～50円上乗せして販売するといった考えがなされているところでした。しかし、有料化するまでは相当議論の余地がある訳で、賛否両論であります。いずれ、実施するためには、民間の方・学識者が集まって協議会を設立して、相当協議される事と思います。19年度・20年度あたりから有料化に向けた新市の動きがあるという事をご承知いただきたいと思います。以上です。」

B委員

「各地域の集会施設、あるいは町内会館、そういう所には浄化槽があると思いますけれども、その補助率は一般と同じなのか、そういうものについては、ある程度優先してやっているのか。もう一つは先日の災害で、大川端・伏見線の土砂崩れがあり、鳥海荘に行くにしても、フォレストに行くにしても直根の人達は不便している。崩れてからかなり時間がかかっているが、工事の見通しはどうなっているのですか。」

佐藤建設課長

「一つめですが、人槽によって補助金額が変わってきます。今現在、嵩上げしている部分については、鳥海地域のみでございます。合併の段階での打ち合わせでは、23年度までこの体制を持って行こうという話で進んでおりましたけれども、かなり市の財政も厳しいという事から、本課の方からはなるべく早い時期に他町と同じような、嵩上げをしない方向を迫られておりますけれども、今年実施するのが22件。今年からはみ出る部分が15基ほどあります。現在更新があるものに関しては、現行のままという事で本課にお願いしてあります。そういった面で、なるべく早く市に申し込んでいただいて、そういった方がまだいるという形を示さないと、ある程度の年限で、補助金他地域並みに落とされるという危険はあります。」

それから、県道の大川端・伏見線の関係ですが、あの地域そのものが農地地すべり区域に入っております、現在土地改良の関係の事業で進んでおります。現在業者が入りまして、地すべりの度合い、例えばすべりの度合いが道路まできているのかどうかという形での復旧方法、かなりかかるという事で、今月いっぱいでも中間報告も出るというように聞いております。その結果が出ないと、県のほうでも、こういった工法になるのか判断が下せないというような状況でございます。早急な通行解除について県に対して農林部長、建設部長が要望したところであります。」

B委員

「集会施設の水洗化は嵩上げ、優先してやってくれるのかどうか。栗出の地すべりについては、あそこは通称”オグズレ”と呼ばれ、毎年石が落ちてくると

ころであり、何回も道路を越して石を寄せたこともあり、あそこに水路（上川内堰）を造る際にも特別な工事をして、かなり頑丈なものを作っており、鉄板を被せれば水路は大丈夫と考えられる。復旧まであまり手間をかけずに通れるようにできないか。」

佐藤建設課長

「19日に議会産業建設常任委員会の視察もあります。」

村上振興課長

「集会施設・町内会館の補助の内容をお知らせします。（補助率等要綱説明）前年度の10月末まで要望書提出、翌5月末まで申請書提出、6月頃から着工という順に進みます。」

B委員

「補助金はどのくらい？」

佐藤建設課長

「7人槽で70万円です。会館等の建物については使用頻度、面積等により人槽が算定される。対象家庭、施設はどしどし手を挙げていただき、まだまだ必要なんだということをアピールしていかないと、補助金の減額という事態になりかねないと考えます。」

E委員

「160㎡以下だと5人槽、それ以上だと7人槽。」

村上振興課長

「補足ですが、会館等の補助金は、国県補助金が交付されている場合は、その分が控除されて補助対象となるものです。」

佐藤建設課長

「浄化槽の普及については、指定工事店を通じて対象家庭に早めに手を挙げるよう呼びかけをしていただいております。」

議長

「では、次に進めていきたいと思えます。⑤、その他について説明をお願いします。」

振興課

「5月28日にふるさと鳥海の役員会がございまして、その席上、2つほど依頼を受けて参りましたが、1つめは、8月15日に実施する”ふるさとツアー”へ地元の皆さんとの交流の一環として、ツアー並びに交流会への参加を呼びかけられております。行程等につきましては資料のとおりであります。盆のさなか大変ですが、ご都合のつく方は振興課までご連絡いただきたいと思えます。」

「2つめは、ふるさと鳥海の会設立20周年記念事業であります。これまで鳥寿苑での”県の木庭園造成事業”、”鳥海中学校開校・鳥海球場完成記念 紅山桜贈呈事業”が行われておりますが、このたびは地元の要望をいただければ、それに沿った事業を計画しようという意向でありました。委員皆様から何かいいアイデアをいただければ、概算費用を積算いたしまして10月の役員会でお伝えし、良しとなれば11月の総会に諮られ、募金活動など事業が展開される運びとなるものでございます。今後、協議いただきたいと存じます。」

「3つめの、”ふるさと鳥海の会会員から地域への要望・意見について”であります。これまでは、会員各層から要望・意見が寄せられましても、これを取り上げて話し合う仕組みがなかなか構築できない状況でありましたが、鳥海地域としては、合併を機に地域協議会が組織されたことにより、ここを受け皿として、会員皆様の熱い”ふるさとへの思い”を託されたご意見等について、客観的視点での地域課題の掘り起こし、という観点からお話し合いいただければ、

ということでもありますので、よろしくお取りはからい願います。
①2007年問題、いわゆる団塊の世代の大量退職が間近に迫っているわけですが、鳥海地域としては、こういう人達を歓迎してくれるのか。何らかの施策があるのか、等々
②施設従業員等の待遇等についての諸々の意見
以上です。」

議長 今日の日と言うことは無理でしょうから次回に協議したいと思います。
「次に各期成同盟会等への参加要請について」説明願います。

振興課
佐藤主席参事 (各期成同盟会等への参加要請について説明、それぞれ15名ずつの要請である旨説明し、名簿報告の了解と参加了承を得たい。総合支所から車を出す旨。)

議長 「ふるさと鳥海の会の関係、各期成同盟会等について説明がありましたが、ふるさとツアー、これは地域協議会と交流したいということか。」

振興課
佐藤主席参事 「例えば、団塊の世代の話、ふるさとに帰ればどんな施策で迎えてくれますか、というようなお話し合いをしたいと。」

A委員 「県の方では何か。新聞で紹介されていたと思ったが。」

振興課
佐藤主席参事 「菊地会長が、県出身者の懇談会なんかで知事がお話しになるのは、都会の皆さんからふるさとの実家に電話をかけて子供作りを呼びかけてくれ、という話をされると言います。こういったことも含めて話し合ってみたら如何でしょうか、という話題が提起されたということです。こういう趣旨です。」

議長 「テーマを設定して意見を交換したいということですか。」

振興課
佐藤主席参事 「ということではなくて、いろいろ広い意味でふるさと鳥海の会から意見を出したことがらについて、お話し合いいただきたいということです。」

議長 「8月15日のふるさとツアーの参加については次の会にひとまずお預けして、基本的には積極的に受け入れる、ということでもよろしいですね。そうした中で20周年の事業も考えたい。シンポジウムについてはあらためて案内通知を出すのか。」

振興課
佐藤主席参事 「あらためては出しませんので、希望の方は、電話でご連絡いただきました後に、出発時刻を再度お知らせすることといたします。」 (了)

議長 「今日提示されました事項に関心をお持ちいただきながら、今後お話し合いをいただきたい、ということでもあります。その他のその他何かありますか。」

A委員 「合併協とか、三位一体の改革とか、職員が、鳥海はいろいろな施設があるがために多い、という話で、そのために各施設の民営化とか、即そうはいかないものにしても、直営の施設は賃金の職員も含めて、目立って多いわけです。行政改革がいろいろな面で手厳しく行われる中で、鳥海の各施設がいつまで直営でやれるのか、民営化という話が見えてくるのかな、という思いがある。ただ、要望としては、協議会として地域、雇用者、利用者への影響も含めて考えていかなければならないのではないかなと思ひ、是非取り上げていただきたいと思ひます。」

鷹島総合支所長

「皆様ご承知のとおり、合併後 10 年で 300 人の職員削減という定員管理の方針が示されております。採用を退職者の 3 分の 1 に抑えていくと自然に 10 年間で 300 人削減が達成されるという予想であります。施設関係ですが、原則として今の状態で行くのか、指定管理者制度への移行、民間委託などが考えられるわけですが民間委託の場合については、私の方の西目にもありますが、保育所、いわゆる特養施設、こういった施設について民間委託がなるのかどうか、今まだそこまで議論が行ってないというのが実情です。ただし議論が進む前に指定管理者になるのかどうかについては既に出ていますので、どういう風な移行の仕方をするのか、ここが問題になると思います。当然皆さんも予想がつきますが、施設が民間委託になった場合、当然民間は利益が上がらないと経営が成り立たないということが常識でございますから、いずれ今の施設で 100 人いたものが、80 人・70 人となっていく場合、その可能性を含んでおります。いずれは通らなければならない道かな、と思っておりますが、保育所関係で若干話は出ていますが、そこまで行ってないというのが実情で、今のところは心配ないだろうと思っております。直営の場合については、いろいろ今臨時職員の問題が議会や新聞に出たりしていますが、法律は法律として、今これだけの人数がいなければ、これだけの施設が持って行かれないのだ、という事実もあります。市の執行部としても、これは必要悪みたいなもんだらうという考え方を持っています。今の状態を続けないと施設は持って行けないという認識のもとで、ある程度整理はなるかもしれませんが、大幅に一気に削減する状態でない、ということです。いずれ、先ほど申しましたように、いずれは通らなければならない道ということを、我々執行部としても認識しておかなければ、と思っております。西目保育所の民間委託について、4～5 年前に考えたことがあります、日本荘市の私立幼稚園に民間委託ということでありましたが、職員の身分の問題があり、今の給与を民間では払えない、民間は安いというのが実態でございます。そこら辺から幼保一体というのが出てきていますが、この部分から委託の方に移行していく可能性はあると思っておりますが、まだ、その部分は市から全然話が出ていない状況です。私たちが先走って、そういうことがあるんだ、ということは住民の不安を煽ることになりますので、これはこの地域協議会の中で、こういう質問が出た、ということに止めたいと思っております。」

A 委員

「合併協議会の中での話し合いからは、今年度当たり方針が示されるのかな、と思っていた。そういう話題が出ましたら、即協議願いたい。」

鷹島総合支所長

「支所の関係でも期待を持たせすぎのきらいがあるのですが、先ほどの 2007 年問題とも関連しますけれど、私もいわゆる団塊の世代の人間であります、平成 19 年度～23 年度ごそつといなくなります。今後 10 年間で採用を抑えながら 300 人を減じることになればどこを縮小するか、ということです。これは支所を縮小することになるということ、当然皆さん方予想がつくだろうと思っております。今行政改革の方でも、そうなった場合支所をどういうふうに持っていくのか、ということが大きな課題であります。目前の課題でありますから、私方も考えていかなければと思っております。施設については、入所者の関係等、人だけ減らしていいものか、ということがあります。今の状態を保っていかないと持って行けない、というように考えざるを得ないだろうということです。」

B 委員

「矢島の福祉会館は、社協が指定管理者となってから料金が安くなって利用者が増え、日新館より利用者が多くなっているようだ。こうなると指定管理者とか民間委託に走りがちとなるのではないか。」

鷹島総合支所長	<p>「簡単にはいかないと思います。給与体系、公務員と民間では給与が格段に差がありますから。施設というのは、きちっと管理していかないと、後で莫大な修繕料がかかるということが難点。人がいないからといって管理者をおかないとするのか、むしろ管理者をおいた方が安くなるかもしれない。そこら辺の兼ね合いというものを考えていかなければならないことだろうと思います。3月定例会で150施設、今定例会で6箇所の指定管理者になっている。町内会館などあらかじめ決まっているものが多いのではあります。」</p>
議長	<p>「施設の民間委託などの関係でいろいろお話しが出ておりますけれども、私たちも関心を持って勉強して参りたいと思います。」 (その他の有無、意見聴取 無し)</p>
村上振興課長	<p>「以上で本日の会議を閉じます。議事の進行にご協力を賜り、ありがとうございました。鳥海総合支所長より、締めのおいさつを申し上げます。」</p>
鷹島総合支所長	<p>「長時間にわたりご協議ありがとうございました。協議の内容につきましては事務執行上十分参考にさせていただきますので今後ともよろしくお願いいたします。若干、次回への宿題という形で預けたところがございますが、次回の協議でよろしくお願いいたします。地域協議会はなんといっても、総合支所、地域の代表たる意見を出していただく機関であり、最重要な機関となっておりますので、いろいろご意見をいただきますようよろしくお願いいたします。本当に今日はありがとうございました。」</p>
村上振興課長	<p>(閉会) 「長時間、大変ご苦労さまでした。第2回地域協議会は先ほどご説明申しあげましたような形で、7月下旬に予定させていただきます。委員の皆様には繰り合わせの上ご出席いただきますよう、よろしくご理解とご協力をお願いします。」 (閉会 午後4時30分)</p>